

口永良部島山頂部の地盤変動

産総研 地質調査総合センター

京大防災研 火山活動研究センター

2004 年から GPS 連続観測を実施中である。山頂部の観測点は、新岳山頂火口の北西約 200m の SDW と同南約 500m の FDK の 2 箇所である (図 1)。GPS 受信機は 1 周波型で、観測データは携帯電話回線を利用して回収している。SDW では、これまでに 4 回の膨張を検出した (図 2, 図 3 の太矢印)。前回の 2 月の報告以降 6 月 17 日までの期間において新岳火口の膨張と見られる変位は観測されていない。4 月頃から FDK に若干の北変位が見られる。

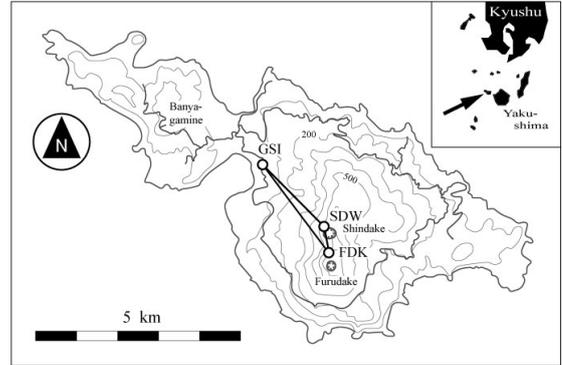


図 1 GPS 観測点及び基線位
GSI は国土地理院の GEONET 観測点。
地形図は国土地理院の 1/5 万地形図を使用した。

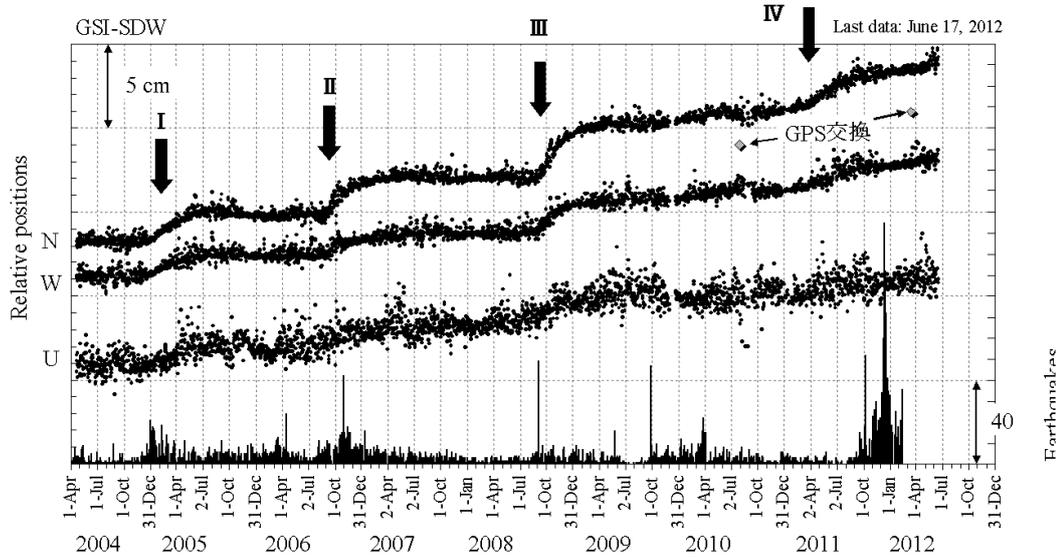


図 2 GSI-SDW の 2004 年 4 月からの 3 成分相対変位
地震数のグラフは 2012 年 2 月 22 日まで。

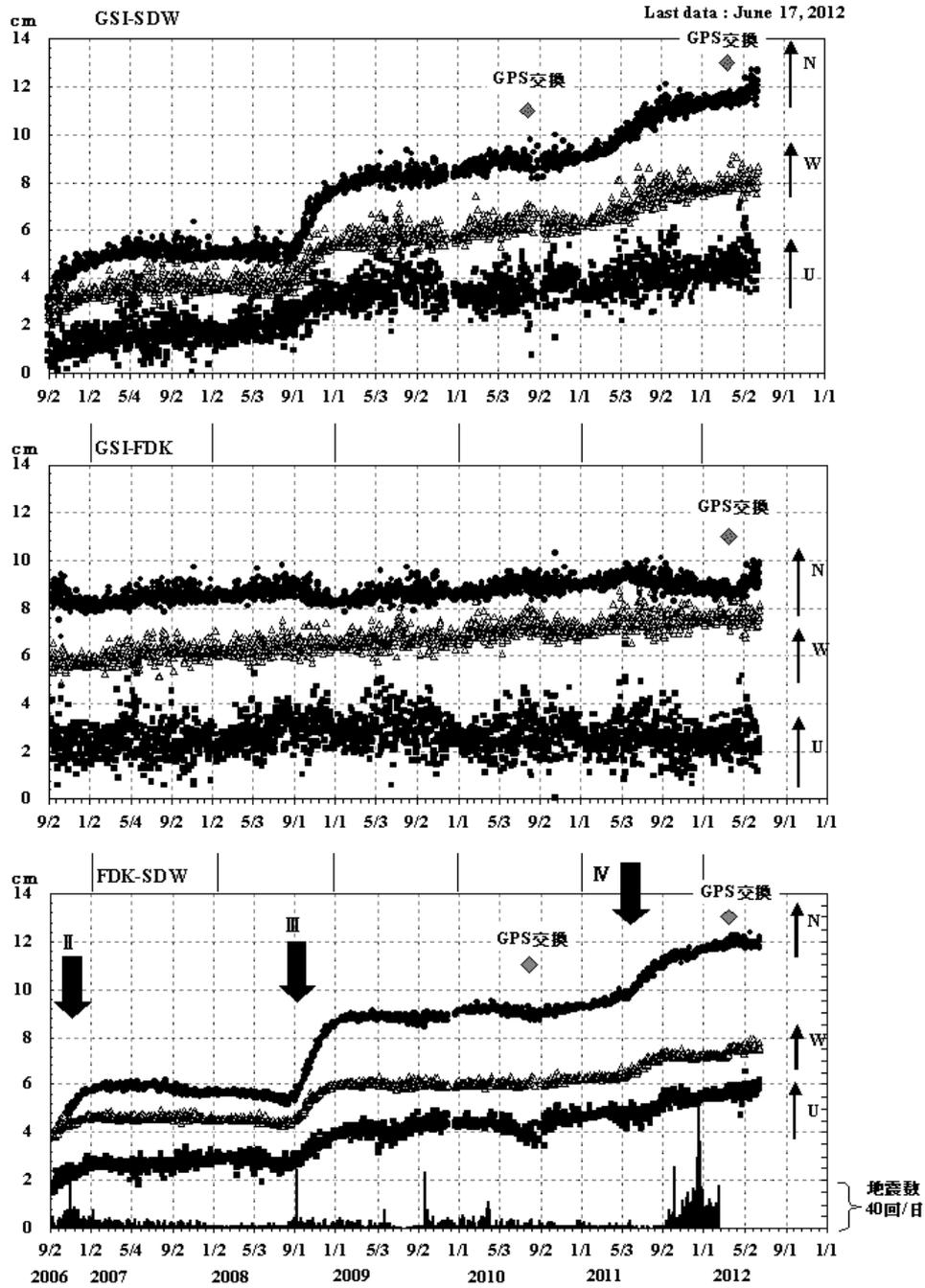


図3 GSI-SDW-FDK の2006年9月からの3成分相対変位
 4月頃から FDK に若干の北変位が見られる。
 地震数のグラフは2012年2月22日まで。